

<あかり指揮・指導者プロフィール>

木野村 雅子先生

国立音楽大学卒業。幼少の頃から音楽に親しみ、児童合唱団に所属。羽場和子・村田健司・立川澄人・宍倉正信、各氏にステージングを学ぶ。在学時代より合唱指導をはじめ、電子オルガン奏者、ソロや合唱団のピアノ伴奏者として活躍。卒業演奏会（声楽と共演）にも出演する。歌う、弾く、振る、創るなど、一人で何役もこなす音楽の達人であり、それらを駆使しての企画力や指導・演出・編曲などでは好評を得ている。

東日本大震災後、音楽を通して支援活動を展開し、現地の子ども達との交流やジョイントコンサート（ふれあいコンサート・イン・釜石／釜石小学校、被災地支援コンサート／北上市）を実現させた。また、「～届けうたのメッセージ～」として震災直後に作曲した「あきらめないで」は、釜石小学校の復興歌となり歌い続けられている。

混声合唱団あかりでは、創立の前年、『あしたの灯』を歌う会」としてコンサートを開催した折、指揮・指導を依頼され、引き続き現在に至っている。定期演奏会での団を活かしたコンサートプログラムでは、毎回来場者を魅了している。また、学校や介護施設への訪問演奏、被災地支援コンサートなど、団員と共に活動している。

2016年10月には「コーラス・フェスタ・イン・ヨーロッパ」に指導合唱団メンバーを導き、ブタペスト（ペスティ・ヴィガド）にてゲスト出演団体として指揮を、ウィーン（聖シュテファン大聖堂）では合同演奏の一助を担った。

現在、様々なニーズに合わせた個人・グループ・合唱団の指導やコンサートを通し、“音楽をする”楽しさや喜びを広める活動の他、合唱講座の講師や各コンクール審査講評も務めている。

MSKミュージックワールド主宰。調布市医師会コーラス、くにたち混声合唱団 ときわ（旧称：混声合唱団国立ときわ会）指揮者。